

産業の地位認知、向上の条件

1. 産業の創出価値、貢献実績が評価されている
2. 産業の重要性が評価、認知されている
3. 産業集団組織が整備され、管制中枢が機能している
4. 業界全体の情報網が整備され、コミュニケーションが機能している
5. 産業の就業者たちが自信と誇りを持ち働いている

2008年7月

ねじ産業の展望と課題

7

ねじ産業重点施策

1. ねじ産業を中小産業集団から差別化
問題: ねじ産業は、一般的な中小企業産業のイメージに埋没しているため、ねじ産業として差別化が必要である。
2. ねじ産業の存在主張による差別化
問題: ねじ産業なくしてはモノ作りは成り立たないし、日本の近代化、戦災復興も困難だった。ねじ産業の価値と持続性を主張し、ローテクイメージを払拭する。
3. 業界組織の整備と機能化
問題: 政治、経済、地域など改革、再開発に必死。ねじ業界は戦後産業体制の延長線上にある。産業組織と情報網の再開発なくしてはねじ産業の未来は保証されない。

2008年7月

ねじ産業の展望と課題

8

未来開発事業実施項目案

実施項目	実施目的	通常年度概算予算	関連効果
I. 産業再開発・キャンペーン 1. 産業使命感、自信の定着 2. 産業再開発協議会編成 3. 企業啓発セミナー 4. PR、ネット活用啓発	業界差別化、活性化 負け犬的発想の払拭 キャンペーン強力推進 企業(お客様・従業員)啓発 企業予算啓発、担当養成	ポスター、マニュアル 300万円 セミナー費用 100万円	A B G A B A A B E
II. 安全点検キャンペーン 1. ねじの日感謝イベント 2. ねじ安全点検講習会 3. 展示会、イベントへの出展 4. パンフレット、ポスター制作	産業イメージ向上PR ねじ産業社会貢献度PR 製品信頼性・安全PR ねじ産業ブランド化PR	印刷資料、宣伝物 500万円 宣伝ビデオ 1000万円 展示会費用 1000万円	B E G B E G B E B F
III. 産業体制整備 1. 産業組織の機動的整備 2. 情報ネットの整備拡充 3. 業界啓発セミナー	商工協力体制充実 商工協力活動基盤整備 内外情報交流活性化 業界内部啓発	新設備導入 500万円 産業・研究開発費 500万円	B G B G B G A G
年間予算総額		1500~4000万円	

2008年7月

ねじ産業の展望と課題

9

未来開発プロジェクトの問題

1. プロジェクト様子見の経営者が過半
1) 業界人の関心は高いが自分が当事者だと思っていない。
2) プロジェクトの趣旨・内容を理解していない。
3) 永遠の課題的なテーマなので無理だと思っている。
2. 業界地位に関心少ない経営者の存在
1) 業界の役割と活動に疑問を感じている。
2) 業界の地位向上より当面取り組むべき問題が多い。
3. プロジェクト推進資源の欠乏
1) 年間1000~2000万円の必要費用捻出苦慮
2) 内外キャンペーンの実施実働要員と時間確保困難
3) プロジェクトの費用は投資であることの認識希薄

2008年7月

ねじ産業の展望と課題

10

ねじ商社の役割、使命

- 川下メーカー・顧客の調達代行
 1. 要求品種の品揃え
 2. 最善コスト、最高品質の保証
 3. オンデマンドサプライの保証
- 川上ねじメーカーの営業代行
 1. 顧客要求、解決課題の把握
 2. ベネフィット提案営業
 3. 調達リソースの確保、理念共有

2008年7月

ねじ産業の展望と課題

11

ねじ商社の未来開発

- ◇ねじ産業の両輪の自覚と使命感
 - ねじ商社業界の使命感と自信の啓発
- ◇ねじ産業の貢献と製品価値のPR
 - 他産業との差異主張、効果的啓蒙
- ◇ねじをコアに商品複合化、多角化
 - 専門力強化 or ビジネス領域拡大
- ◇ねじメーカーとの連携深化、多様化

2008年7月

ねじ産業の展望と課題

12